

安芸国<sup>さえき</sup>佐伯郡<sup>くりす</sup>栗栖村 <sup>まるいし</sup>丸石家文書 仮目録

広島県立文書館

令和3年(2021)9月

凡 例

- 1 本目録には、安芸国佐伯郡栗栖村 丸石家文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

**請求記号** 本文書群の群番号は(201619)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 201619/1

**表 題** 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。

**年 代** 資料に記された作成年月日を探った。

**作 成** 資料の作成者を記した。

**形 態** 資料の形態を記した。

**数 量** 資料の点数を記した。

**備 考** 留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

## 【文書群概要】

# 安芸国<sup>さえき</sup>佐伯郡<sup>くりす</sup>栗栖村 丸石家<sup>まるいし</sup>文書（請求記号 201619）

山県郡佐伯郡栗栖村の農家、丸石家に伝来した文書。

**出 所** 丸石家

**出所地名** 安芸国佐伯郡栗栖村／広島県廿日市市栗栖[現在地名]

**旧支配** 広島藩領（家老上田氏給知）

**役職等** 未詳

**分量** 4点（4冊）

**収蔵までの経緯** 平成28年（2016）12月、原蔵者より三浦忍文書調査員を通じて広島県立文書館に寄贈された。

**年 代** 享和3年（1803）～文政13年（1830）

**歴 史** 未詳。資料の表紙にある「井磧屋」が同家の家号なのか、寄贈者も知らない。資料の内容から浄土真宗の信仰が深い農家と思われる。

**内 容** いろは歌、「教訓道しるべ」など。

**検索手段** 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2022.9.22 記述／西村 晃）

201619／1

京と本願寺御もんせんにていろはうた あんしんかゝみ 文政13.12. 井磧屋 横半・1冊

写本か

---

201619／2

西国札立うたうつし 文政13. 6. 横半・1冊

---

201619／3

〔教訓道しるべ〕 享和 3. 2. 縦冊・1冊

寛政年間発刊「教訓道しるべ」の写本。落書多数

---

201619／4

〔聖人一流の章〕 縦冊・1冊

冒頭に「しやうにん。いちりうの。ごかんげの。をもむきハ。…」とある

---